



◆山登りで体力づくり

…ふじやま学園児が…

ミ山のぼりで体力をきたえようミと、ふじやま学園の高学年園児 20名が、7月25日、富士登山を行ないました。園児たちは、いつも見ている富士山に初めて登るとあつて大張切り。ひとりの落伍者もなく、元気にミ山のぼりミを楽しみました。

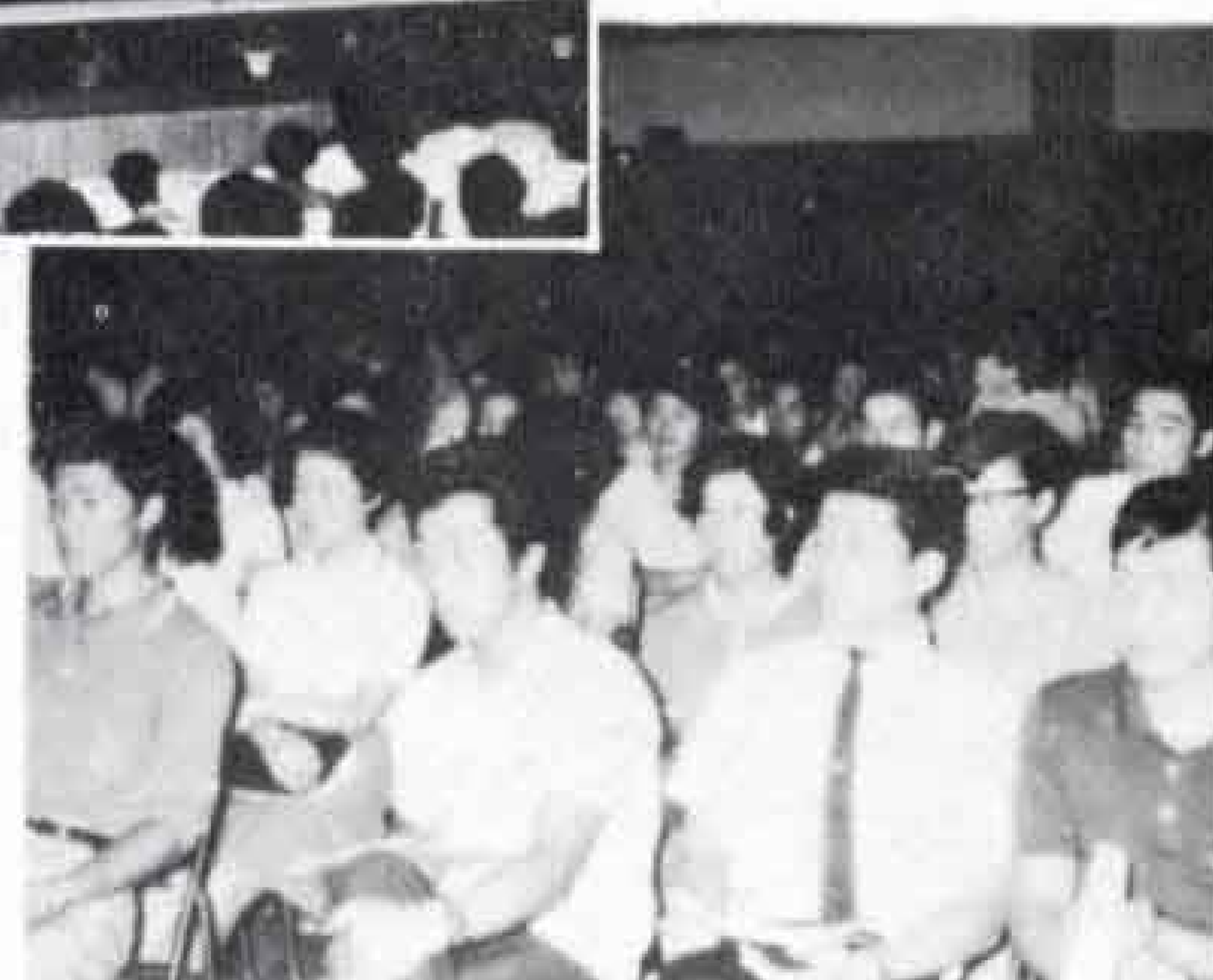
なお、この学園の行事を聞いた地元の富士本青年団(石川豊寿団長)は付き添いとして団員21名が参加し、園児たちの手を引いたり、手を引かれて富士登山をしました。

◆明るい町づくりを

…青年団・婦人会が決起大会…

「青年みずから責任を自覚して明るい町づくりをしよう」「家庭で話し合いの場をもとう」と、青年団連絡協議会(遠藤栄会長)と連合婦人会(今泉春枝会長)は、7月23日、25日にそれぞれ総決

起大会を開き明るい町づくりをはかつていくことを誓い合いました



今と昔

今と昔

吉原本町通り ⑤

左下の写真は、今から40年くらい前の吉原本町通りです。

馬車鉄道のレールが見えないので、大正時代の写真でないことがわかります。

大正時代の末まで吉原駅前から富士宮市まで馬車鉄道がラツパを吹いて通っていました。これは、入山瀬の富士製紙会社の原料や製品を運んだり、人を乗せるために明治23年につくられました。しかし、身延線の開通と富士駅が設置されたため、馬車鉄道の存続価値がなくなり40年間にわたって使用されましたが大正末期に撤去されました。

左に眺峰館のトンガリ屋根が見えます。フォードの乗

用車が走っていますが、おそらく中山秀雄さん(吉原ではじめて車を持ち営業をはじめた人)のタクシーと思われます。女学生が2人カバンを背負って歩いています。

右側にはこどもを連れた和服姿の婦人が見えます。そこを曲る道の手前の角が今の市川酒店です。今は鉄筋の美しい店舗が立ちならんでいる吉原本町通りも、わずか半世紀前まではこんな町でした。現在の写真とよく比べてみてください。

※風景や風俗などのめずらしい写真をおもちの人はお貸しくください。連絡先は市史編さん室(富士事務所)または秘書課広報係(本庁)です。

